

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 9日
住 所 埼玉県草加市学園町1-1
県内企業等の名称 獨協大学
代表者役職 氏名 学長 山路 朝彦

獨協大学

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

本学の学則第1条では、本学の目的を「社会の要求する学術の理論および応用を研究、教授することによって人間を形成し、あわせて獨協学園の伝統である外国語教育を重視して今後の複雑な国内および国際情勢に対処できる実践的な独立の人格を育成する」と規定している。
これは2030年に向けて国内外の諸問題の解決を目指す持続可能な開発目標(SDGs)の主旨に適合しており、今後もSDGsの達成を担う人材の輩出に貢献する実践的な独立の人格を育成していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	“CO2排出量削減” 環境への配慮のため、CO2排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> CO2排出量:31%削減 ※基準は、2004年度~2006年度の3か年の平均値。	<2030年に向けた指標> CO2排出量 26%減 <3年後に向けた指標> CO2排出量 24%減
社会	“SDGs関連科目履修者数の増加” SDGs人材を輩出するため、SDGs関連のキーワードを含む科目の履修者数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> SDGs関連科目履修者数:6,693人	<2030年に向けた指標> 8,000人 <3年後に向けた指標> 7,000人
経済	“教育的視点を踏まえた経済的関係性の強化” 教育的視点を踏まえつつ、地域の福祉事業所や特別支援学校による販売活動の支援、地域で産出される食材の活用、学生が開発した商品の販売活動などを通じて、地域経済の活性化に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 上記活動合計件数:13件	<2030年に向けた指標> 25件 <3年後に向けた指標> 20件

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。